

標準委員会 リスク専門部会 外的事象 PRA 分科会  
第 10 回 断層変位 PRA 作業会 議事録

1. 日 時：2019 年 2 月 5 日（火）14:30-17:20
2. 場 所：電力中央研究所大手町本部 8 階 NRRC 大会議室
3. 出席者（敬称略）：  
【出席委員】糸井主査、蛭沢副主査、神谷幹事、酒井幹事、青柳委員、大竹委員、高尾委員、織田委員、田中委員、佐々木委員、仁平委員、美原委員、原口委員、松村委員、吉田委員、渡辺委員、中村委員（17 名）  
【常時参加者】堤、中野、梅木、藤井、肥田（5 名）  
【欠席委員等】奥村委員、辻委員、牟田委員、渡邊委員、成宮常時参加者、高嶋常時参加者、湯山常時参加者、福嶋常時参加者
4. 配布資料：  
RK6WG5-10-0 議事次第  
RK6WG5-10-1 前回議事録（案）  
RK6WG5-10-2 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X 解説  
RK6WG5-10-3 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：20XX  
RK6WG5-10-4-1 断層変位 PRA 実施基準 中間報告案へのコメント  
RK6WG5-10-4-2 5 サイト・プラント情報の収集・分析と事故シナリオの概括的分析  
RK6WG5-10-5-1 6 確率論的断層変位ハザード解析  
RK6WG5-10-5-2 断層変位 PRA 実施基準 20181109 案へのコメント  
RK6WG5-10-5-3 断層変位 PRA 実施基準 中間報告案へのコメント  
RK6WG5-10-5-4 断層変位 PRA 実施基準 中間報告案へのコメント  
RK6WG5-10-6-1 断層変位 PRA 実施基準 20181109 案へのコメント(7 章関連抜粋)  
RK6WG5-10-6-2 7 建屋・機器フラジリティ評価  
RK6WG5-10-6-3 別添 断層変位 PRA 実施基準附属書(参考)・解説の内容及び担当者(案)  
RK6WG5-10-6-4 附属書 7-4(参考) 損傷モード及び部位の抽出にかかる参考資料  
RK6WG5-10-6-5 附属書 7-11(参考) 建屋・構築物の現実的耐力の評価手法  
RK6WG5-10-6-6 附属書 7-20(参考) 断層変位フラジリティ評価の妥当性検証(確認)の例  
RK6WG5-10-6-7 附属書 7-21(参考) 断層変位フラジリティ認識論的不確実さ評価手法の活用例  
RK6WG5-10-7 8 事故シーケンス評価  
RK6WG5-10-8 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する

する実施基準：201X（中間報告でのコメント等について）

5. 議事録概要及び決定事項等：

(1) 定足数の確認

議事に先立ち、委員 21 名に対して出席者 17 名（定足数確認時）で定足数（2/3 以上）を満たしている旨確認した。

(2) 前回議事録確認

前回議事録案について、下記の通り修正することが確認された。

- 5.(7)は削除する。
- 5.(6)の説明者に「神谷幹事」を追記する。
- 5.(6)に「プラントウォークダウンの試行について」を追記する。

(3) 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：202X 解説（RK6WG5-10-2 /神谷幹事）

- 3 適用の対象範囲の本実施基準の対象外から、「(1)将来の経年変化の影響を考慮した評価」は削除する。
- P6 上から 7 行目、「決定論的な評価を補完する形で、」を削除する。

(4) 8 事故シーケンス評価（RK6WG5-10-7、RK6WG5-4-1/田中委員）

- 8.6.3 に対するコメント 27 については、8.3.4 c)留意事項を引いたうえで、対応案の通りとする。

(5) 7 建屋・機器フラジリティ評価（RK6WG5-10-6-1~3/美原委員、RK6WG5-10-6-4/原口委員、RK6WG5-10-6-5/吉田委員、松村委員、RK6WG5-10-6-6~7/美原委員）

- 附属書 7-11(参考)は残していくことで検討する。
- RK6WG5-10-6-6 のタイトルを「妥当性の検証」→「妥当性の確認」とする。
- RK6WG5-10-6-5 については、ねじれに対しての記載を追記する。
- 7-23 附属書 BI(参考)のタイトルは、「フラジリティ評価の観点からの被害事例の特徴」などに変更する。
- 6（ハザード評価）との関連性が明確になるように記載を検討していく。

(6) 6 確率論的断層変位ハザード解析（RK6WG5-10-6-1~4/高尾委員、堤常時参加者）

- 青柳委員と協力して日本地球惑星科学連合 2019 年大会に 2 編の論文を出すべく作業を進めており、それを引用する形で附属書 6-3(参考)を作成する予定。
- 地表での断層変位ハザード曲線を解放基盤表面へ変換する目的を「6.3.2 基本方針」で述べる。
- 6.3.9 の記載は削除。理由は、CBR は通常 LT に対して用いる用語であるのに対し、現状案ではハザード曲線に対して用いているため。

(7) 5 サイト・プラント情報の収集・分析と事故シナリオの概括的分析（RK6WG5-10-4-1~2/田中委員）

- 5.4.1.1 b) 1.1)は「副断層を対象とする場合」が分かるようにする。
- (8) 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：  
20XX (RK6WG5-10-3/佐々木委員)
- 「断層変位ハザード解析」は「断層変位ハザード評価」と修正し、章を跨いで統一する。
  - 3 用語及び定義、略語の 3.15「断層変位伝播」の前に、3.15 として「断層変位」を追記する。
- (9) 原子力発電所に対する断層変位を起因とした確率論的リスク評価に関する実施基準：  
201X (中間報告でのコメント等について) (RK6WG5-10-8/酒井幹事)
- P8 主要議論項目(5):附属書(参考)の取扱いについては、成宮常時参加者のコメントを踏まえて、議論していただくための記載に修正する。
  - 分科会に提出する資料は、パワポ資料、対比表、本文と解説とし、2/13 締切りとする。
6. 次回日程等：
- 次回作業会 2019年3月27日(水) 13:30～  
場所 電力中央研究所本部 711 会議室

以上